

ACTIVITY REPORT 2024-2025

活動報告書

認定NPO法人おれんじハウス
2025年6月



01 理事長あいさつ

こどもたちの育ちと地域の未来をつなぐために

いつも温かいご支援とご協力ありがとうございます。

私たちは昨年に引き続き、一人ひとりの子どもの育ちに寄り添い、保育園や児童発達支援、子育て支援、医療的ケア児の居場所づくりなど、多様な取り組みを通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して活動を続けています。

2025年6月時点の主な取り組みとして、

- ・ 2025年度から港区立元麻布保育園の指定管理者変更へ（2025年4月より共同事業体として運営開始）
- ・ 横浜市居宅訪問型保育事業の申請（2025年8月開始予定）
- ・ 横浜市認可保育所の新設（2026年4月に2か所開設予定）
- ・ 江戸川区・おれんじハウス西葛西保育園で「こども誰でも通園制度」先行実施
- ・ 病院出張型こども食堂とソーシャルワークの取り組み
- ・ 全国小規模保育協議会の理事長を拝命、10年ぶりに『小規模保育白書』と『実践事例集』を同時刊行
おれんじハウス星川保育園とおれんじハウス西葛西保育園の取り組み事例が掲載

なかでも、医療的ケア児の居場所づくりは引き続き力を入れており、支援の必要性を改めて実感しています。

2025年には、医療的ケア児支援法の初のかな大きな改正も予定されています。現場での経験を活かし、制度づくりや自治体との連携にも引き続き取り組んでまいります。

認定NPO法人おれんじハウス
理事長 中陳 亮太



02 わたしたちの強み

おれんじハウスグループの強みは、職種や事業の垣根を越えたつながりにあります。保育・医療・福祉など、それぞれの専門性を持つスタッフが連携し合い、互いに学び合いながら、一人ひとりの成長を丁寧に支えています。人と人とのつながりを育み、支援の手が必要なご家庭へ、確かな安心を届ける"おれんじの輪"

この取り組みを通して、すべての子育て家庭が安心して暮らせる、「こどもまんなか社会」の実現を、私たちは本気で目指しています。

おれんじハウスグループの包括的な支援体制



03 おれんじハウスのアクション

保育・発達支援・看護、それぞれの専門性を持つ多職種が連携し、協力し合うことで、“おれんじハウスグループだからこそ届けられる支援”を、さまざまな角度から実現しています。

その力を活かして、すべてのこどもとご家族が、地域で安心して暮らし続けられるよう、幅広く、そして継続的にサポートしています。

保育事業

「すべてのこどもに、安心できる居場所を」 医療的ケア児支援と地域とつながる保育のかたち

2025年4月より、港区立元麻布保育園にて医療的ケア児クラスの運営を開始しました。医療的ケアが必要なこどもや、発達に不安のあるこどもとそのご家族が、安心して過ごせる保育環境づくりに取り組んでいます。

また、地域に根ざした保育園を目指し、親子を対象としたイベントも年間140回実施し、延べ2,171組の参加がありました。子育ての不安や悩みを共有し合える場として、地域のつながりづくりにも力を入れています。

こうした実践の背景には、私たちが大切にしてきた保育の考え方があります。家庭的な保育環境の中で、一人ひとりの「その子らしさ」に寄り添い、主体性や自己肯定感を育むことを心がけています。日々の「できた！」という成長の瞬間をこどもたちと共に喜び合い、自分自身を大切に思える心を育んできました。

今後も、すべてのこどもとご家庭に寄り添いながら、誰もが安心して育ち、暮らしていける地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。



発達支援事業

発達支援の継続と設備研究への取り組み

発達に課題のあるお子さんや、重症心身障がいをお持ちのお子さん一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を継続的に行い、年間延べ**3,079名**の方にご利用いただきました。



↑ センサリールーム設備

また、より良い子育て環境や職場づくりを目指し、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社が研究している「センサリールーム」設備の効果検証に、約10ヶ月間協力しました。

これからも多様な連携や発達支援の知見を活かし、インクルーシブ社会の実現にも貢献してまいります。

看護事業

医療的ケア児を支える地域看護の実践と連携

こどもたち一人ひとりの安心と健康を支えるため、さまざまな場面で看護の取り組みを進めています。

- 延べ1,399件の訪問看護を実施し、家庭に寄り添う支援を提供
- 保育園や特別支援学校への通園・通学支援
- 公立病院や看護師養成機関での講義を通じた専門性の発信
- 複数区での「保育所等看護職会議」立ち上げによる看護職のネットワーク形成

こうした実践の背景には、保育園や児童発達支援、訪問看護の現場など、さまざまな場面でこどもたち一人ひとりの安心と健康を支えるという私たちの看護の理念があります。

これからも現場に根ざした看護の力を生かし、こどもたちの育ちと暮らしを支えていきます。

04 地域支援活動

医療的ケア児の居場所づくり

医療的ケアが必要なこどもたちも安心して過ごせる社会の実現のために

地域で暮らすすべてのこどもおよびそのご家族を対象に、各園において保育体験、相談会、こども食堂等のイベントを定期的に行いました。加えて、インクルーシブ親子キャンプの主催や横浜マラソンへの参加など、多様な形での支援活動にも取り組みました。

医療的ケア児がより良い環境で過ごせるよう、イベントの企画・運営にとどまらず、職員自らが他施設の視察を行い、施設環境の改善にも努めました。



2024年度は新たな取り組みとして、全国の医療的ケア児とその保護者同士をつなぐオンラインイベントを実施し、山口県在住のご家族にもご参加いただきました。

うれしい感想をたくさんいただきました

たくさんの方の実際の声が聞けて、とても参考になりました。保育園に通った時のスケジュールも想像ができ、よかったです。お休みの日にも関わらず素敵なイベントを企画開催してくださりありがとうございました。

(オンラインイベント参加者)



おれんじハウスのこどもまんなかアクション

地域における妊娠期からの切れ目ない子育て支援

地域における子育て支援の一環として、私たちはさまざまな取り組みを実施してきました。

親子や妊娠期の方々との接点を増やすことで、子育てに関する不安や悩みを相談できる場づくりを行なっています。

これまでに実施した主な取り組みは以下の通りです。

- ・ 育児相談会や離乳食・食事に関する相談会の開催を通じて地域の親子と直接つながる機会を提供
- ・ 妊娠中の方やそのパートナーを対象にした「プレママ・プレパパ向けイベント」の実施
- ・ 地域の小児医療機関と連携した「病院出張型こども食堂」の開催（両日ともに100名以上が来場）



- ・ 横浜市産前産後ヘルパー・ベビーシッター派遣事業で新たに9組のご家庭を訪問し、家事支援や育児相談を実施

今後も引き続き地域と連携しながら、すべての親子が安心して子育てできる環境の整備に取り組んでいきます。

インクルーシブ親子キャンプやオンラインイベントなど、地域支援活動にご参加いただいた皆様からのご感想をご紹介します

素敵な取り組みありがとうございます。
インクルーシブキャンプは障がい児をかかえる家族にとってキャンプの一步を踏み出すとても良い機会なので、ぜひ続けてほしいです。応援しています。

（インクルーシブ親子キャンプ参加者）



05 メディア掲載情報

【書籍掲載】

- ・「小児看護」 2025年2月号 第48巻第2号（株式会社へるす出版）
- ・「保育ナビ」 2025年2月号（株式会社フレーベル館）
- ・「月間福祉」 2025年5月号（社会福祉法人全国社会福祉協議会）
- ・「小規模保育白書 2025年版」（NPO法人全国小規模保育協議会）
- ・「小規模保育の実践事例集2025」（NPO法人全国小規模保育協議会）

【ウェブ掲載】

- ・YouTube 保育士チャンネル【シゴトLive】（株式会社マイナビ）

06 お寄せいただいた寄付のご報告

あなたの寄付が医療的ケア児の居場所づくりに

2024年度は2,505,000円の寄付とイベント物品の協賛をいただきました。

今回の寄付はインクルーシブ親子キャンプの運営、地域の医療的ケア児への子育ち・子育て支援および環境づくりとして医療的ケア児一時預かり保育であるポノや病院出張型こども食堂、その他にも医療的ケア児とそのご家族に関する新規事業開発に活用させていただきました。



07 寄付と活動参加のお願い

私たちは、医療的ケアが必要なこどもとご家族に、日々の安心や成長の喜びを届けるために、積極的に「医療的ケア児の居場所づくり」活動を行っています。

この取り組みを継続し、さらに多くのご家庭に支援を届けるためには、皆様からのあたたかいサポートが欠かせません。

寄付やボランティアとしての活動へのご参加など、できることから、ぜひお力添えをお願いいたします。

寄付によるサポート

おれんじハウスは、高い公共性が認められ、自治体から「認定NPO法人」に認定されています。そのため、おれんじハウスに対する寄付は「寄附金控除（税制控除）」の優遇を受けることができます。**確定申告を行うことで、寄付金額の最大50%が税金から控除されます。**

また、寄付者が応援したいNPO法人を選べる神奈川県の新制度「ふるさと納税を活用したNPO指定寄附～NPO応援寄附～」を利用した寄付も可能です。

活動参加によるサポート

おれんじハウスが「こどもまんなかアクション」として行っている取り組みに、サポーターとしてご参加いただけます。主に以下の活動で、ボランティア参加を歓迎しています。

- ・インクルーシブ親子キャンプ
- ・横浜マラソン（託児の取り組み）
- ・横浜開港祭（イベントブース出展）
- ・地域で行うこども食堂
- ・各おれんじハウス保育園主催の子育て支援イベント

08 事業・施設一覧

保育事業

【神奈川県横浜市】

おれんじハウス西戸部保育園	おれんじハウス二俣川保育園
おれんじハウス横浜駅前保育園	おれんじハウス星川保育園
おれんじハウス反町保育園	おれんじハウス鶴見保育園
居宅訪問型保育事業＜新規＞	

【東京都江戸川区】

おれんじハウス西葛西保育園	おれんじオハナ西葛西保育園
おれんじハウス中葛西保育園	

【東京都港区】

港区立元麻布保育園＜新規＞
ヘルパー（産前産後、育児支援、養育支援）／一時預かり保育

児童発達支援事業

児童発達支援（重心型、一般型）／居宅訪問型児童発達支援
おれんじハウス西横浜教室（重心／一般）
おれんじハウス中葛西教室（重心）
保育所等訪問支援／放課後等デイサービス＜新規＞

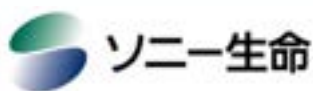
看護事業

おれんじハウスこども訪問看護ステーション
保育園等看護師支援／医療的ケア児通学支援＜新規＞

その他事業

医療的ケア児の居場所づくり活動／病院出張型こども食堂
インクルーシブ親子キャンプ（2025年11月8～9日開催予定）
横浜マラソン（チャリティ寄付先団体／横浜サポーター）
地域の親子向け子育て支援

私たちを支えてくださった企業の皆さま



ソニー生命株式会社
横浜ライフプランナーセンター
第4支社



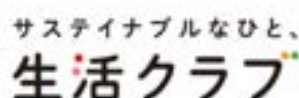
神奈川トヨタ自動車株式会社
トヨタモビリティ神奈川



CAMPiece南足柄



有限会社梅や



横浜みなみ生活クラブ
生活協同組合



株式会社つま正



黄金井酒造株式会社



Panasonic株式会社 エレクトリック社
センサリアルーム プロジェクトチーム

私たちの活動は、日頃から皆さまの温かいご支援によって支えられています。今後も継続的に取り組みを進めていくために、寄付やご協賛という形でのご協力をお願いしております。
活動の趣旨にご賛同いただけましたら、ぜひご支援をお寄せいただけますと幸いです。





**Orange
House**
おれんじハウス

認定NPO法人おれんじハウス

〒221-0052

神奈川県横浜市神奈川区栄町1-19

グレイス横浜ポートシティ1階

TEL 045-534-3706

<https://orangebaby.org>